

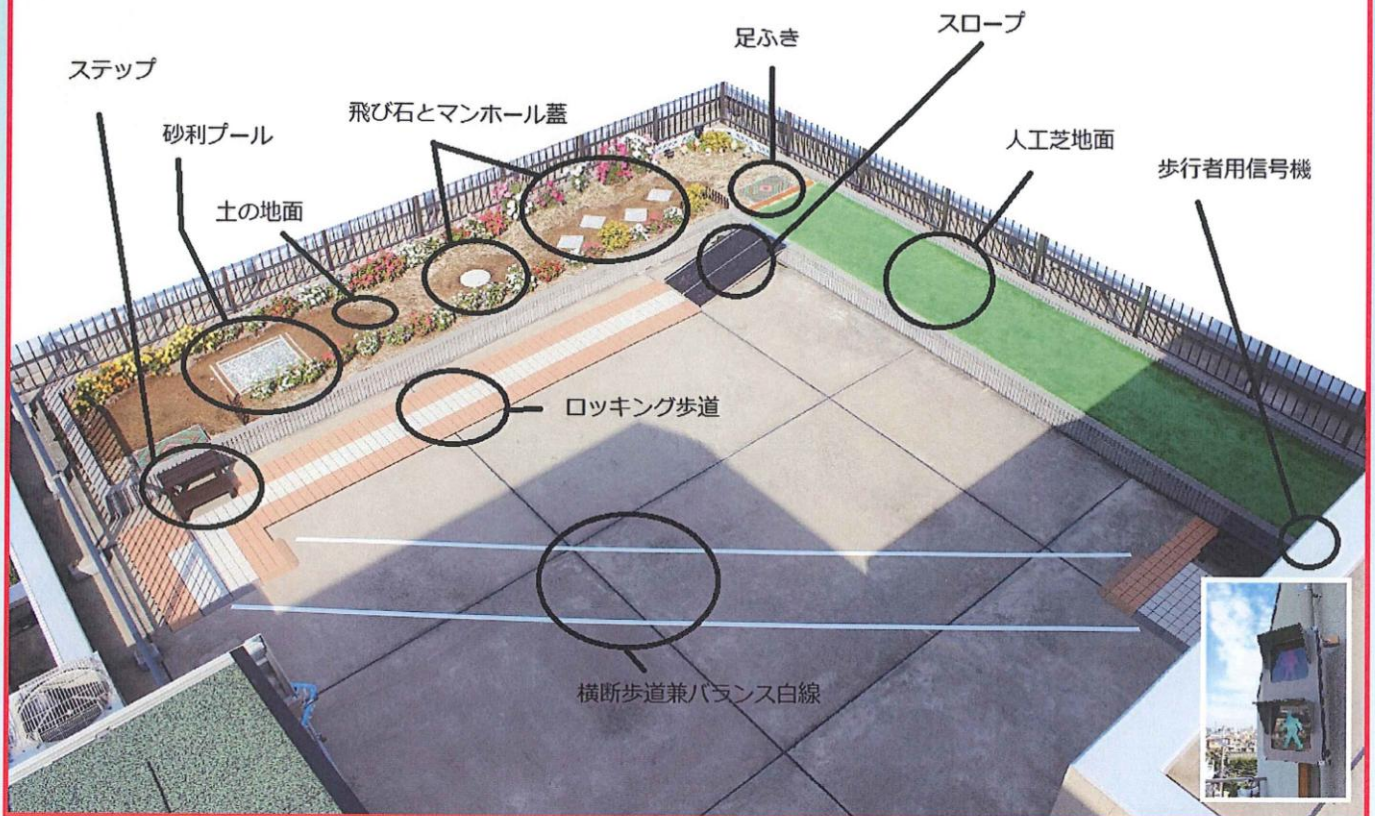
竹の塚脳神経リハビリテーション病院 4階テラス

屋外歩行訓練場「ちゃれんじ」Ver.1 について。

日常生活の中では、「不安定な路面」「スロープ」「各種段差」「交通信号機」などなど、様々な障害が行く手を阻みます。

「ちゃれんじ」は、そんな障害の一部をコンパクトに再現した空間となっており、そこで練習することにより、必要なバランス力や筋力、および判断力等の向上を狙います。セラピストの指示に従って、より実践的なリハビリテーションに「チャレンジ」してください。

屋外歩行訓練場「ちゃれんじ」の主な仕様



設備の紹介



横断歩道と信号機

信号は自身で認知・判断・行動を必要とする自立の象徴です。1mを1秒で歩行するのが目標となります。



人工芝の地面

やわらかい草の柔軟性と抵抗に加えて、平たんではない地面に足を取られてしまいます。



飛び石と土の地面

不均一で安定しない飛び石はバランスだけでなく踏み外しや歩幅に注意する必要があります。



マンホールの蓋

何気なく路上に点在するわずかな段差が障害になることも多いものです。



砂利プール

不安定な砂利の山は常に同じ形ではなく、臨機応変に対応するバランス力が必要です。



スロープとロックング歩道

連続する坂道の負担は予想以上です。歩道では色の違いを利用して狭い一本道を歩いたり、左右に割り振ってみたり、歩行の基本的な動作をマスターしましょう。